



カコ十中
加古川小学校の由来
逆三角形
未来へ、新進気鋭
青：大空へはばたけ
白い鳩 平和
鳩里小学校の由来

自律(J) 創造(S) 尊重(S)

学校だより

Smart(かしこく) Tough(たくましく) Heartful(心豊かに)



No. 16 26.01.19
校長室から



1.17 防災集会「希望の灯り」



私たちは1月17日という日を忘れず、
震災から学んだことを生かし、
強く生きていくことを誓います。

・・・生徒会・・・

16日(金)に生徒会で「防災集会」を開催しました。
映像を通して、31年前の1月17日早朝に身近な
神戸で起こった「阪神・淡路大震災」の脅威(きょうい)
と、無残な瓦礫(がれき)の中で失った6千人を超える
人命と、その中に昨日までいた同じような中学生の
友だちがいたことを知りました。

映像にくぎ付けになるほど見つめる生徒の皆さんの
姿から、映像の中に震災で被災し戸惑う「自分」を
感じとったようでした。

大震災…、それでも人々は立ち上がりました。
生徒会の「防災集会」での行動も立ち上がる人間の
一人であり、助け合うすばらしい人間の力です。

日本は世界で最も地震の多い国です。近い将来に
必ず大地震が起こり、大きな災害が予想されます。

生徒会の宣言にあるように、いざというときこそ、
「防災集会」の学びを生かし、どんな困難なことがあ
っても、たくましく強く生きてほしいと思います。

1/17 加古川中学校区「人権ひろば」

人権文化センターで小中学校の代表が作文発表。

加古中からは1年生の今田
さんが発表。家族を通して、
「私は誰にでも優しく、平等
である人間になりたい」と語
りました。来賓の加古川公民
館長様から「すばらしい生徒
さん、すばらしい家族。感動
しました」と言われました。



1/14 被ばく体験伝承講演(2年生)

山口さんによる切明さんの体験から

15歳の切明さんが被ばく。爆風でガラス破片が
頭に刺さりケガをしたものの軽傷。しかし、たばこ
工場では多くの女学生が、全身火傷で皮膚が剥(は)
がれて指先からぶらさがり、凄惨(せいさん)な場と
なりました。医者もいない薬もない中、切明さんは
精一杯の手当てをしました。

「水をください」と言われる
のに「水を飲んだら死んでし
まう」と言われ、あげること
ができない。「死んでもいい
から水をちょうだい」とつぶやき、もがき、苦しみ
ながら次々と女学生の友だちは死んでいきました。

山口さんに「切明さんなら加古川中の生徒に何を
伝えますか?」と聞いたところ、「『**平和をつかんで、
平和を見張り、平和を逃さないようにしてほしい**』
と言うでしょう」とおっしゃいました。

「歴史は繰り返される」
と言われます。

「戦争」「原爆」「侵略」
が決して繰り返えされ
ないよう、切明さんの
切なる思いを私たちは
守っていきましょう。

